

地域密着型金融推進計画の進捗状況（平成17年4～9月）

土別信用金庫

当金庫は、平成17年8月29日地域密着型金融推進計画を策定し、地元の事業者に対する支援目標を掲げ、地域経済の再生に向けて取組みを進めて参りました。本計画における主な取組み事項の本年9月末の進捗状況並びに課題について、以下の通り報告致します。

1. 事業再生・中小企業金融の円滑化について

- ・平成17年度は51企業を経営改善支援先として「金融改革プログラム推進委員会」と「支援チーム」により改善支援を進めてきました。地域経済がさらに低迷を強めており、今後はランクダウン防止などより一層の支援強化に努めます。
- ・目利き能力・融資能力の向上として、各種手法の定着化・有効活用と人材の育成に取組みました。今後も継続的な取組みにより、一層のスキル向上に努めます。
- ・与信取引に係る顧客説明及び相談・苦情処理については、親身でかつわかりやすい説明に取組みました。引き続き適切な対応に努めます。

2. 経営力の強化について

- ・収益力の維持・向上に努めました結果、平成17年9月末仮決算における自己資本比率は14.00%程度と前期末から0.21ポイント上昇しました。
- ・厳正な自己査定と適切な償却・引当の実施及び信用リスク管理の強化に努めました結果、同仮決算における不良債権比率は2.34%程度と引き続き健全性を維持しております。
- ・各種事業用ローンの推進により同仮決算の事業性貸出金残高は202億円と前期末から7億5千万円増加となりました。引き続き地元事業者の資金ニーズに積極的に取組みします。

3. 地域の利用者の利便性向上について

- ・ディスクロージャー誌、ホームページを活用し、地域貢献等についての情報開示と内容の充実に取組みました。引き続き、積極的な情報開示と内容充実に取組みます。
- ・当金庫に対するアンケート調査の実施により、経営改善に反映しております。今後は、アンケート調査の対象を広げ、より多くの「地元の声」にこたえて参ります。

以上の通り、本計画の主な取組み結果について取りまとめましたが、当初の計数目標については、9月末時点において順調であると評価しております。

項 目	平成19年3月末目標値	平成17年9月末現在
経営改善支援先数	50先以上	51先
自己資本比率	14%以上	14%程度
不良債権比率	3%以内	2.34%程度
事業性貸出金残高	200億円	202億円

地域経済がさらに低迷を強めており、業績低下に苦慮する地元事業者に対し、より深度ある相談業務、より生きた支援ができるよう、今後も役職員一丸となって鋭意取組む所存であります。

なお、より詳細な内容については、「地域密着型金融推進計画の進捗状況（詳細版）」及び「経営改善支援の取組み状況」に記載しております。

以 上